

大豆

村行政の目的は

地域住民の福祉増進

新村建設事業の推進

行政運営の合理化

事務改善を断行

場等と緊密な連繫をとりつ、村企画室が中心となつて、村地域農業推進協議会及び事務局を設置、昭和三十一年度における国の一般地域の指定、昭和三十八年度より事業実施を目標に努力を重ねてきた。

昭和三十三年三月地域農業推進協議会の答申にもとづいて、村農林業施策の基本体系が村是として決定

とつたといふ。起草をもつたといふ。

本村においては合併當時四百六十八ヘクタール（実測五十五ヘクタール）の山が引継がれたが、西嶺行造林を除いて、そのほとんどが裸山で何等みるべきものもなかった。

このため村は昭和三十年以来専任職員を設置（現在二名）して計画植林を行っている。

十三ヘクタール、村直営人
工林百八十五ヘクタール、
自然林百四十八ヘクタール
に及び生々發展が約束され
ている。

尚、村有林の昭和三十六
年度末反別は実測六百五十
ヘクタールである。

すでに財政のところで述
べたように村財政の調整と
弾力性を保持するための黄

立金制度（条例）による積立金は昭和三十六年度末現在三千百九十一万円に達している。

二頁へ続き
ます

お父さん
正しい選挙を
やりましょう
アヤタ・クニオ



二頁へ続き
ます

大豊村が
優良町村として
表彰を受けました

大豊村が全国町村会から優良町村として去る一月三十一日、表彰を受けました。

これは町村自治の振興目標の一つとして毎年同会が行っているもので、本年は全国で四十六の優良町村と六百九十人の自治功労者が表彰されましたが、大豊も優良町村の一つとして県下で唯一ヶ所表彰されたものであります。

これを機に、大豊が合併時から今日迄あゆんできた過程をふりかえることは、これからの大豊にとつて極めて大切なことであろうと考え、全国町村会に提出された資料を次の通り掲載致しました。

(公民館)

御挨拶
表彰に當つて

村長 三谷 泉水

本村が本年一月三十一日に全国町村会から優良町村として表彰されましたことは無上の光榮で喜びに堪えません。これ偏えに新村発足以来二万村民の皆様方が困難と闘いながら力強い御協力を下さったおかげでありまして衷心より感謝申上ます。

八年前を回顧しますとき実に感慨無量なものがあります。旧四ヶ村が合併して面積三百五十七平方キロ人口二万三千五百余国鉄駅七つを有する全国屈指の大村となりましたものもの地勢峻嶇加うるに全村的な地すべり地帯を背負い集団化された有望な産業もなく旧村から引継の赤字二千七百万円や複雑せ諸種の問題が山積しておりますに、ずぶの素人の私には到底整理の見通しなどつく筈がありませんでしたが村議会の御指導と助

したことは御同慶の至りでございます。一方新村建設事業も国県の温い御援助と村民方の御協力で大体順調に進みました。

今後教育産業民生等村民の福祉増進にふさわしい村造りに益々御精進し、頂きますよう心から念願致します。甚だ簡単でございますが表彰に当つての御挨拶と致します。

健全財政確立への労苦

健全財政確立への労苦

本村は発足当時、旧村時代の負債約二千七百万円があり、この額は当時の理論一般財源の五十五%を占めるものであり、これに加え旧村によって財産処分を前提とした各種事業の資金難のため、頓挫せるものが二千数百万円にのぼる等、予算編成の苦勞はもちろんなことと資金操作の困難は筆舌に言い得ないものがあつた。

昭和三十年度においては一時借入金金の利子のみで実に四百万円を超えている。

またまた昭和三十年財政再建促進特別措置法の施行をみたことを契機として、県下町村に先がけて、この適用を受けることとした。

すなわち昭和三十一年四月二十六日、これが申出を行い、同年十二月五日をも

計画を六ヶ年に短縮して昭和三十六年度において完了するように措置をした。

この間、固定資産税、木材引取税の財政再建のための超過課税を行い、また昭和三十三年度においては村財政の調整を図り、資金に弾力性をもたせるための積立金制度を採用する等、健全財政の確立につとめ、また、昭和三十六年度末現在、財政再建債を償還して尚、積立金三千九十一万円を有するに至った。

憶えは財政再建期間の道程は文字通り荆棘の連続であつたが、現在の村財政と当時を比較して感慨にたえぬものがある。

しかしながら第一次産業を中心とする本村の財政は至るところに、その脆弱性をみる。

このため真の意味における健全財政の確立は、むしろ今後にあるとして、昭和三十三年度において財政五ヶ年計画を樹立、これの真摯な執行を期するよう配慮している。

に連繫され脈づいたなければならぬ。

この体制が行政運営の合理化である。

このような考え方に立つて行政運営の合理化を図ってきたのであるが、事務方式に関する限り明治以来の仕切り方から脱皮することが

は前述の行務目標のため専任の企画室要員が確保されいわゆるラインとスタッフの二本立による組織が確立されたこと。及び新農政に対処するため産業課を独立させ村の重点方向を明確に打出したことが注目されよ

選挙を
 ましょう
 ヤタ・クニオ

立金制度（条例）による積立金は昭和三十六年度末現在三千百九十一万円に達している。

表彰関係一而より

教育行政の振興について

公立学校の整備

昭和三十三年本村公立小学校は久寿軒小学校を合併し、八校にのぼり、その金額も約五千万に達するが、この一事をもつては、合併による行政力の強化が地方自治上如何に重要であるかという事の証左である。

社会教育の振興

本村においては、昭和三十三年に先んじて、地区公民館の設置を設け、地区公民館の活動を中心とする村づくり運動を推進してきた。

国民健康保険事業の実施

大豊村発足後、から漸次布設していく考えである。昭和三十三年、国民健康保険法が公布された。昭和三十三年、大豊村発足当時から、国民健康保険事業の整備に努めた。昭和三十三年、大豊村発足当時から、国民健康保険事業の整備に努めた。昭和三十三年、大豊村発足当時から、国民健康保険事業の整備に努めた。

民生行政の振興

衛生行政の振興

保育所の整備

昭和三十三年、大豊村発足当時から、保育所の整備に努めた。昭和三十三年、大豊村発足当時から、保育所の整備に努めた。昭和三十三年、大豊村発足当時から、保育所の整備に努めた。

大豊村発足後実施した主な事業について

- 大豊村発足後実施した主な事業について
- 昭和三十三年
- 昭和三十四年
- 昭和三十五年
- 昭和三十六年
- 昭和三十七年
- 昭和三十八年

国土を美しくする運動

- 昨年12月高知県では国土を美しくする宣言を決議しました。
- 私達の家や部落も美化しましょう。
- それは私達の体と心の健康につながるからです。
- みんなこぞって「共同保健計画」を進めましょう。

第10回婦人週間

高知婦人少年室 豊永美鹿子 実施によせて

婦人が社会的良心を生かし育て、明るい社会生活を築く努力を。みんなの社会的良心が住みよい、あすを築く。

園芸組合

し、今後大きな期待がかけられている。

部落公民館

このほか、最近、安野々村史編集に、本村の誇る郷土史をまとめた。

私のみこ

このテーマのもとに時代

